



# 自社らしい活動にこそ、意味がある

～よく生きるの具体化を考え続けたサステナ活動～

---

2025年11月4日（火）  
株式会社ベネッセスタイルケアグループ  
執行役員／CHRO  
豊泉桂子



**現職(株)ベネッセスタイルグループ執行役員／CHRO**

前職(株)ベネッセホールディングス執行役員／サステナビリティ推進本部長

**豊泉 柱子** (とよいづみ けいこ)

1997年ベネッセコーポレーション入社。  
進研ゼミ・こどもちゃれんじの商品担当＆責任者を約20年経験。  
その後、インドネシア駐在やこどもちゃれんじ事業本部長を経て、  
2024年よりグループ全体のサステナビリティ推進担当に。  
現在は介護・保育領域の中間持株会社にて、サステナビリティと  
人事を担当。

1. ベネッセのサステナビリティについて
2. 取り組み事例のご紹介
3. 企業価値向上・事業成長への貢献
4. これから強化したい取り組み
5. 我々の原点としての瀬戸内・直島

1. ベネッセのサステナビリティについて
2. 取り組み事例のご紹介
3. 企業価値向上・事業成長への貢献
4. これから強化したい取り組み
5. 我々の原点としての瀬戸内・直島



bene「よく」 + esse「生きる」

## Benesse = 『よく生きる』

Benesse。それは、「志」をもって、夢や理想の実現に向けて  
一歩一歩近づいていく、そのプロセスをも楽しむ生き方のこと

私たち一人ひとりの「よく生きる」を実現するために  
人々の向上意欲と課題解決を生涯にわたって支援します  
そして、お客様や社会・地域から支持され  
なくてはならない企業グループとして、いまと未来の社会に貢献します

※Benesseは、ラテン語のbene(良い、正しい)とesse(生きる)を一語にした造語です

## 企業理念「よく生きる」に基づいて、 お客さま一人ひとりの、人生のあらゆるステージを支援



妊娠・出産



乳幼児



小中学・高校生



大学・社会人



家庭・くらし



シニア



こどもちゃれんじ

こどもちゃれんじ English

ベネッセの英語教室  
BE studio

ベネッセの保育園

進研ゼミ

進研ゼミ 個別指導教室

進研模試

ミライシード Classi

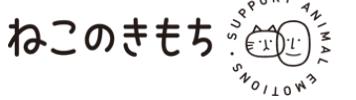
東京個別指導学院

udemy

GTEC

STUDY HACKER

キャリオス 1DAY



アリア

グラニー&グランダ



ベネッセの介護相談室

ベネッセパレットの介護食/配食サービス

ベネッセグループのサステナブルな成長

すべてのライフステージで  
「人」に関わる、社会課題の解決に貢献

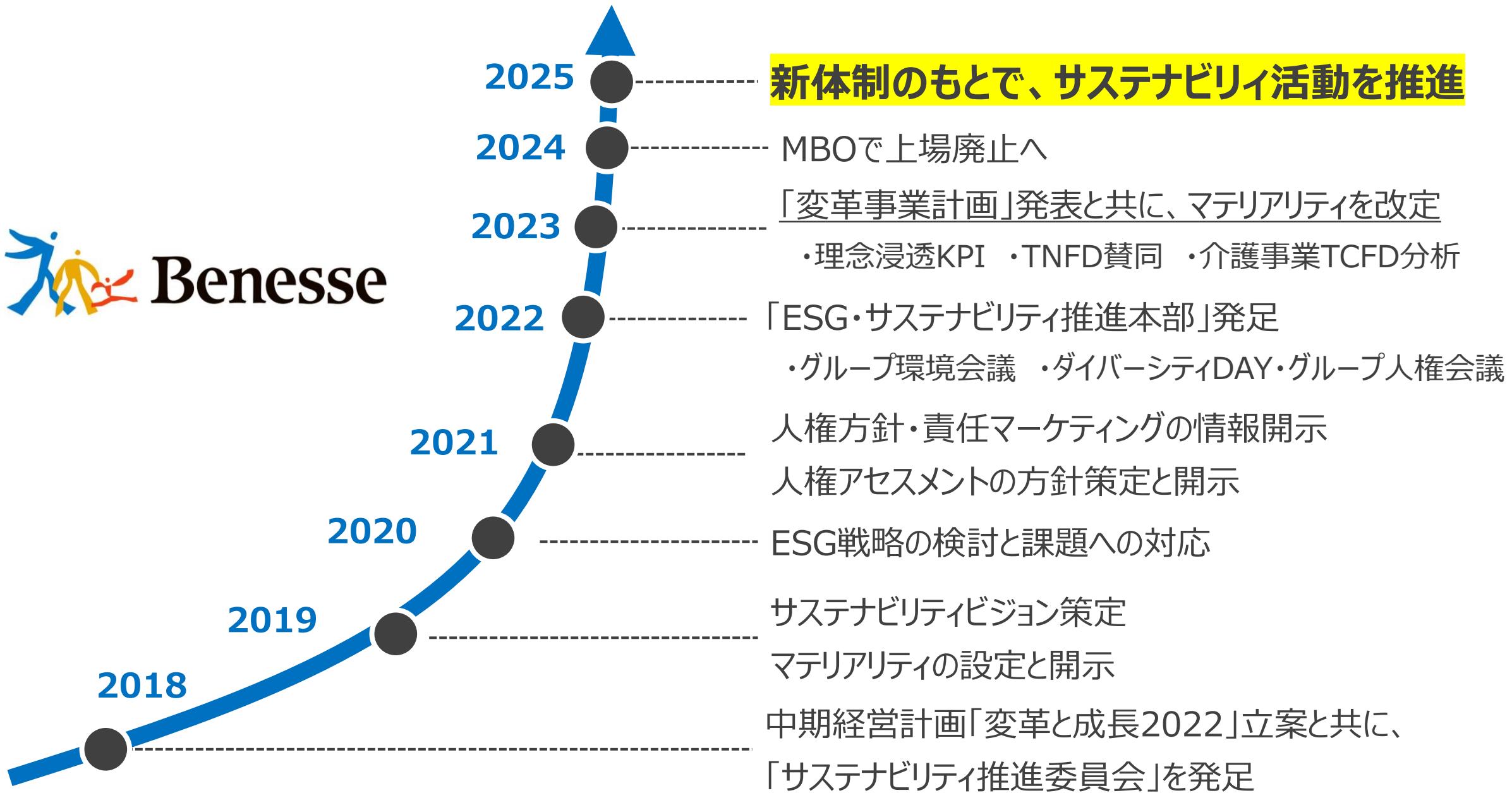


サステナブルな社会の実現

## ベネッセのESG取り組みの経緯(2018-2025)

Strictly Confidential.

7



## ベネッセグループは、「人」にかかる社会課題の解決に貢献していく

多様化、多層化する学びに対する支援と意欲を高める教育の実現

学びを通じた企業の持続的成長と個人のキャリア開発支援

ご高齢者の“その方らしさ”的追求と介護をとりまく構造課題の解決

上記を支える土台として

変革を推進する組織と人の育成

持続可能な地球環境の保全

誠実に社会・顧客に向き合う企業風土

1. ベネッセのサステナビリティについて
2. 取り組み事例のご紹介
3. 企業価値向上・事業成長への貢献
4. これから強化したい取り組み
5. 我々の原点としての瀬戸内・直島

## 介護事業では、BCPの観点も踏まえ、施設のエネルギー削減を推進

### 省エネ



ベネッセスタイルケアの有料老人ホームでは、ご入居者様が快適に一日を過ごされるよう、また低炭素化に向けてLED化を推進。すでに約9割のホームの照明をLED照明へ切替済（2024年度末現在）、残りのホームについては、2025年度中に完了予定。新規ホームは、新築時にLED化計画。

改修前(蛍光灯)



改修後(LED)



ホーム全体の使用電力の20%削減

### 創エネ

ベネッセスタイルケアの有料老人ホームでは、再生可能エネルギー由来電力の利用を進めていくために、新規ホームに太陽光発電パネル設置を積極的に導入していく計画。ホームで使用する電力の約15%\*を自家発電・自家消費で賄う計画。

\*平均値



エリア八雲・山手通

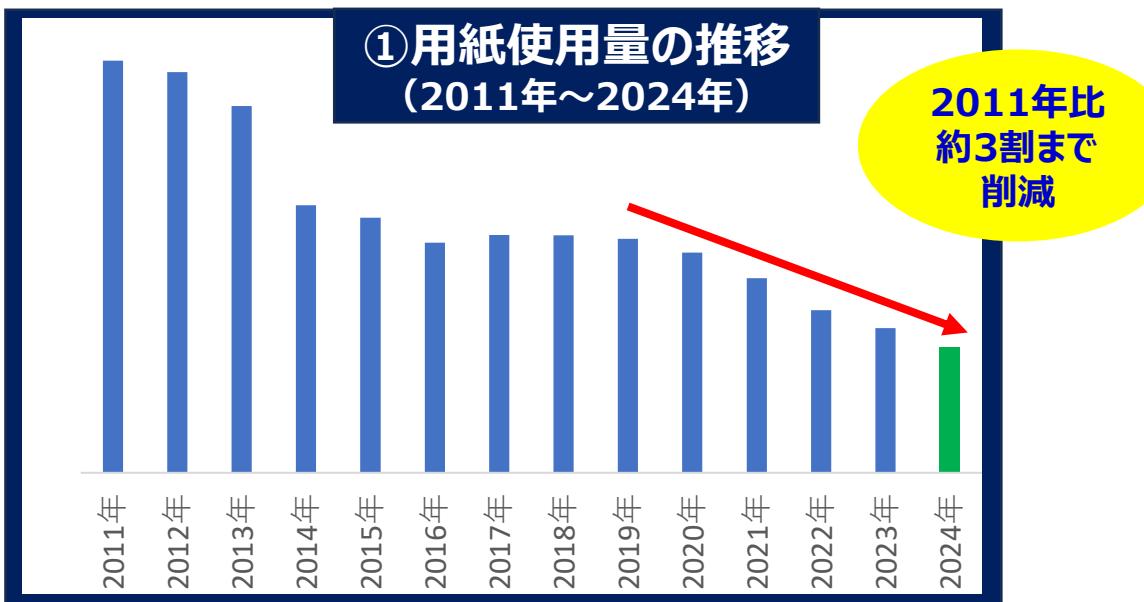
また、BCP対策として蓄電池を導入



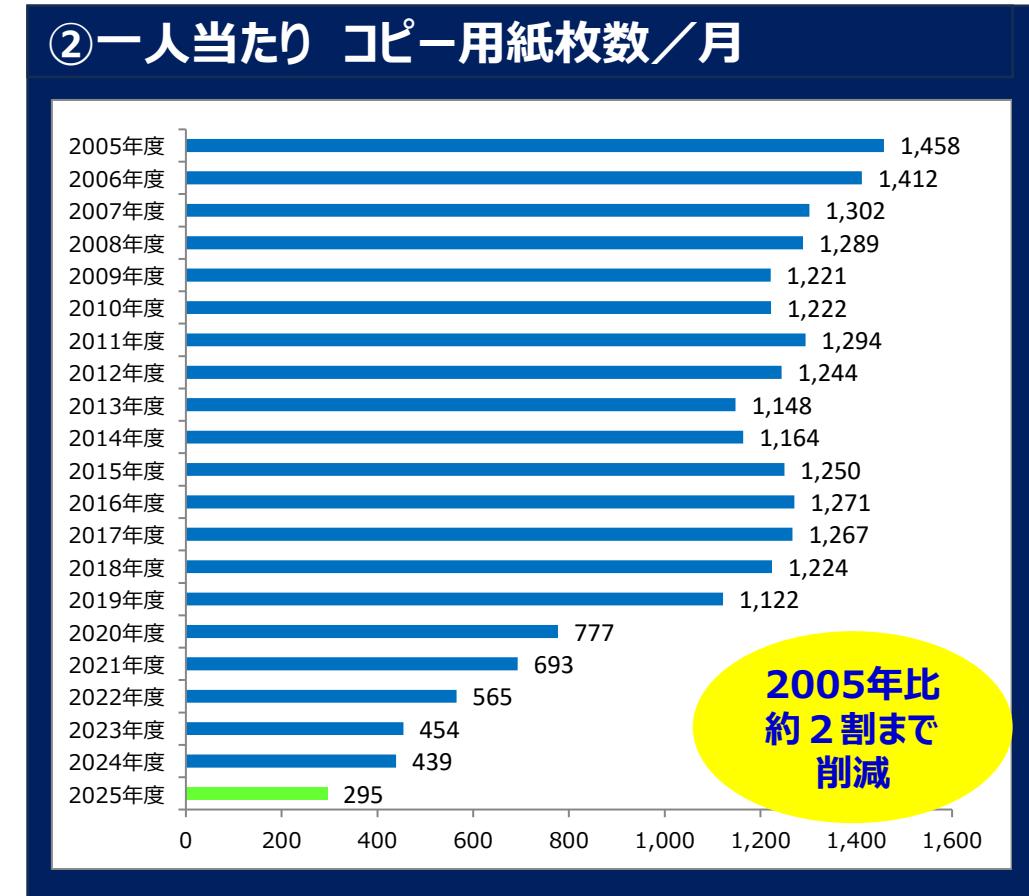
ホーム全体の使用電力の15%を自家消費

## 教育事業におけるデジタル化の推進による紙使用量の削減

### ①商品サービス：こどもちゃれんじ・進研ゼミのデジタル化



### ②事業運営：資料の打ち出し → 投影へ 出社 → ハイブリッド勤務へ



※2025年は、7月までの実績

# 教育・保育分野を中心に、子どもの発達段階に合わせた環境教育を推進

## ●保育事業：保育園児とともに取り組んだこと



### ■ベネッセの保育園・学童クラブ全107拠点での植樹活動

これからの「20年後の未来へつなぐ」をテーマに、ベネッセの保育園・学童クラブ全拠点での“植樹活動”を2025年3月より展開。各拠点でのこどもたちの日常の活動の中で、こどもたちが樹々に水をやり、栄養を与え、お世話をし、未来へ向けてバトンをつなぐでいく。

自社の環境負荷低減には直結しない取り組みではあるが、地球環境保全を“未来からの留学生である”こどもたちと一緒に取り組みながら地域貢献も図っていく

## ●通信教育事業：小学生とともに取り組んだこと



今回で22回目  
約1万5千人が  
応募

## 東京都HTT事業の 告知・普及支援 (「進研ゼミ小学講座」とのコラボ)

HTT：「電力をH(へらす) T(つくる) T(ためる)」の頭文字からとった“HTT”をキーワードにした、都民・事業者と東京都が共に進める脱炭素化に向けたアクション



「続けていくことで、環境意識のある未来の環境人財を増やす」

1. ベネッセのサステナビリティについて
2. 取り組み事例のご紹介
3. 企業価値向上・事業成長への貢献
4. これから強化したい取り組み
5. 我々の原点としての瀬戸内・直島

# 企業価値貢献（＝ブランド信頼）

Strictly Confidential.

14

## 環境関連の認証取得が、取引への好影響や企業の信頼醸成につながっている

### 当社事例： ISO14001取得を 情報開示中

<https://www.benesse-hd.co.jp/ja/sustainability/index.html>

### ISO14001とは？

企業や組織が環境への影響を管理・削減し、法規制を遵守しながら持続可能な経営を行うための環境マネジメントシステムに関する国際規格。

### 参考）エコアクション21

環境省が制定している国内規格。審査費用が安価で、様々な企業に取り組みやすいしくみ。

株式会社ベネッセホールディングス

企業・グループ情報 お知らせ 投資家(IR)情報 サステナビリティ 採用情報

企業哲学「Benesse = よく生きる」のもと持続的な成長を実現し人々の豊かな生活を支える

→ 一般のかた向けの情報はこちら

更新情報 2024年04月12日 ベネッセコーポレーションが環境省の定める「エコ・ファースト企業」に認定

### 外部評価・受賞実績

環境マネジメントシステム (ISO14001) (ベネッセコーポレーション)

ISO 14001 Environmental Management CERTIFIED

環境マネジメントシステムに関する国際規格。社会経済的ニーズとバランスをとりながら、環境を保護し、変化する環境状態に対応するための組織の枠組みを示しています。ベネッセコーポレーションでは2004年より取得し、2024年も更新を行っています。

なお、CO2排出量実績については、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による第三者検証を受けています。2022年からはGHG排出量に加え、エネルギー使用量、水使用量、廃棄物排出量についても検証の対象に加えています。

環境マネジメントシステムに取り組んでいる企業であることを、ステークホルダーにご理解いただく機会になっている。  
また取引先からの要望があった時に、根拠材料として示すことにも活用。



名刺にISO認証ロゴマークを入れることで、環境に取り組む企業であることが、相手にすぐに伝わることも。

# 事業成長支援（取引への貢献）

Strictly Confidential.

15

既に、プライム市場に上場している多くの企業がサステナビリティ活動を推進しており、行政や企業間取引において、取引の前提条件になるケースが一般的になりつつある

## 東京都の社会的責任調達指針

<https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/keiyaku/sr>

### ＜策定主旨＞

経済合理性のみならず持続可能性にも配慮した調達を行うことを通じて、都の調達に留まらず、**企業の調達においても、環境・人権・労働・経済の各分野での望ましい慣行を敷えん**させ、持続可能な社会に貢献することで、都の社会的責任を果たしていく

### ＜適用範囲＞

- ・都（公営企業局を除く）が行う調達の全てを対象とするが、適用に当たっては経過措置を設定する
- ・都が発注する工事、物品調達、委託等の契約の履行において、**受注者等に対し、サプライチェーンを担う事業者も含めて調達指針の遵守を求める**

## チェックリスト例（抜粋）

[https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/zaimu/20240828\\_SR\\_checklist](https://www.zaimu.metro.tokyo.lg.jp/documents/d/zaimu/20240828_SR_checklist)

|  |   |
|--|---|
| (2)環境                                      |   |
| 2.10 資源保全に配慮した原材料の採取<br>(義務)<br>指針本文 11ページ | (義務)違法に採取・栽培された資源の使用防止について、<br><input type="checkbox"/> 違法な原材料を排除するための調達方針を策定している。<br><input type="checkbox"/> 違法な原材料を排除するためリスクに応じて調達先の状況を確認している。<br><input type="checkbox"/> その他の取組を行っている。<br><input type="checkbox"/> 事業の性質上該当しない。<br><input type="checkbox"/> 取り組んでいない。<br><br>(他の取組内容)<br><div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div> |

東京都の社会的責任調達指針は、令和7年4月1日以降に公表される案件から適用が開始されており、義務的事項について「取り組んでいない」を選択した場合、調達指針適用案件の入札に参加できないルールとなっている。

1. ベネッセのサステナビリティについて
2. 取り組み事例のご紹介
3. 企業価値向上・事業成長への貢献
4. これから強化したい取り組み
5. 我々の原点としての瀬戸内・直島

## サステナビリティは、当社の創業の頃からの考え方と一致しており、今後も大切にしたい活動



株式会社  
ベネッセスタイルケアグループ

代表取締役社長CEO

小林 仁

創業の成り立ちから、人々の「よく生きる」を支援するという、サステナビリティやウエルビーイングに通じる考え方で事業を行なってきました。ベネッセは、一般的にはまだ教育と介護の会社と見られていますが、人に焦点を当てて、サステナブルで充実した人生を送るために、それぞれのライフステージの課題を解決する会社へと変革します。

(日経ESG 2023年5月号 対談記事より抜粋)

| 領域    | 取り組み強化テーマ   |
|-------|---|
| 環境    | 介護・保育施設のエネルギー負荷低減                                     |
| 社会    | ①介護職の離職率の改善<br>②多様な人材の活躍推進（特に、障がい者雇用の促進）              |
| ガバナンス | ①理念を軸としたグループ経営の確立<br>②基盤となる倫理観の高い組織風土作り（人権遵守や腐敗防止の徹底） |

※サステナビリティ推進にあたっては、「経営と現場との一体感ある取り組み」「投資効果」も重視していく

1. ベネッセのサステナビリティについて
2. 取り組み事例のご紹介
3. 企業価値向上・事業成長への貢献
4. これから強化したい取り組み
5. 我々の原点としての瀬戸内・直島

# 我々の原点としての瀬戸内・直島

**このページは、投影資料のみとなります。**

---

**EOF**